

令和4年度 第3回多摩市子ども・子育て会議 会議録

- 1 日 時 令和4年11月17日(木) 18:30~20:00
- 2 場 所 多摩市役所 301・302 会議室
- 3 出席者 加藤委員(会長)、立花委員(副会長)、西委員、山口委員、春田委員、西川委員、卜部委員、麻生委員、野坂委員、早川委員、三井委員、廉田委員、佐藤委員、荒井委員、木下委員

4 開会

○事務局 令和4年度第3回子ども・子育て会議を始めます。任期満了に伴う委員交代により、会長・副会長選出まで事務局で進行いたします。

(1) 挨拶並びに委嘱状交付

(多摩市長挨拶)

(子ども青少年部長挨拶)

(委嘱状交付)

(2) 委員・事務局職員紹介

(各委員自己紹介)

(事務局紹介)

(3) 会長選出

○事務局 多摩市子ども・子育て会議設置条例第6条の規定により、会長及び副会長は委員の互選により定めることとなっております。自薦、他薦問いませんので、どなたかいらっしゃいますでしょうか。

(自薦、他薦なし)

どなたもいらっしゃらないようですので、差し出がましく申し訳ございませんが、事務局よりご提案申し上げます。大妻女子大学准教授の加藤委員に、是非お願いしたいと思いますが、皆様いかがでしょうか。

(一同拍手)

○事務局 それでは、賛同が得られたということで、加藤委員に会長をお願いしたいと思います。よろしくをお願いします。

○会 長 (会長あいさつ)

(4) 副会長選出

○事務局 続きまして、副会長を選出したいと思います。副会長も、多摩市子ども・子育て会議設置条例第6条の規定により、委員の互選により定めることとなっております。自薦・他薦は問いませんので、どなたかいらっしゃいましたら、お願いいたします。

(自薦なし)

○会 長 それでは私の方から推薦をさせていただきます。副会長については、乳幼児の精神保健や、

発達障害、児童虐待等に深い知見を有する、国立成育医療研究センターこころの診療部乳幼児メンタルヘルス診療科診療部長の立花委員を推薦したいと思いますがいかがでしょうか。

(一同拍手)

○事務局 それでは、賛同が得られたということで、立花委員に副会長をお願いしたいと思います。よろしくをお願いします。

○副会長 (副会長あいさつ)

(5) 子ども・子育て会議について

○会 長 事務局から引継ぎまして、会議の進行をさせていただきます。本日の出席者を確認させていただきます。

○事務局 本日は、15名中15名の出席となっており、過半数を超えているため会議は成立いたします。

○会 長 続きまして、次第5の「子ども・子育て会議について」に移りたいと思います。事務局よりご説明をお願いいたします。

○事務局 (会議資料及び参考資料の説明)

○会 長 本会議では、多摩市の一人一人の子どもたちが子どもらしく、人間らしく、自分らしく安心して生活していくために、多摩市の子育て政策について多摩市の強みを活かしつつ進めていければと思います。また、今後計画の策定に関しては、ニーズ調査等もありますが、条例等を根拠にしつつ話し合っていければと思いますのでよろしくお願いします。

5 報告

【報告事項】

(1) ヤングケアラー実態調査の実施について

○会 長 それでは、報告事項1について事務局よりご説明をお願いいたします。

○事務局 (報告資料1-1～1-4の説明)

○会 長 ただいまの説明につきまして、ご意見、ご質問等ございましたらお願いします。

○委 員 アンケートの問14に「お世話をしていることで、以下のような経験をしたことはありますか。」という設問があるが、ひとり親でヤングケアラーに該当する子どもがいる場合、必然的にご飯を食べることに欠けると思うので、回答の選択項目の中に「食事がとれない」といった内容があるとよいと思いました。また、私の知っている事例で、小学1年生がひいおばあちゃんの通院に付き添っていた事例もありましたが、このような事例があてはまるような項目はあるのでしょうか。全体的にもう少し選択しやすい項目になるよう工夫してもらえればと思いますがいかがでしょうか。

○事務局 アンケートについては、この内容で確定しているため、申し訳ございませんが、設問の追加、変更等はできません。また、今回のアンケートの設問や回答項目は、国で実施したアンケート内容を参考に作成しており、国のアンケートと対比ができるようにしています。また、小学1年生の子どものお事例をご紹介いただきましたが、今回のアンケートの対象は、小学生はアンケート内容を理解し自分で答えられる学年を想定し、

5年生と6年生を対象としました。そのため、小学校4年生以下の児童でヤングケアラーに該当する子どもがいた場合は、今回のアンケートに含まれませんが、例えば、ヤングケアラーについて地域や保護者等へ周知啓発をしていく中で、見守りや、気づきから、地域と子ども家庭支援センター等が連携して、支援をしていければと考えています。また、今回のアンケートでは、子どもたちに「ヤングケアラー」ということをわかりやすく伝えるために、映像を活用し、理解を深めていただく予定です。

○委員 子どもが、このアンケートを見ても、自分がヤングケアラーだということを認識できなければアンケートには答えることができないと思います。「お家の中でだれかお世話されている人はいますか。」というような設問があると、潜在的なヤングケアラーの発見につながるのではないのでしょうか。自分がヤングケアラーであると気づけていない、そのような潜在的なヤングケアラーを発見しなければいけないと思います。

○委員 アンケートの調査対象が小学生だと5・6年生ということでしたが、ヤングケアラーについて思い浮かんだのは外国人の子どものケースで、小学校に入学してすぐの1年生の時から通訳などを一手に引き受けていたというケースがありました。それは大いにヤングケアラーというところに当てはまると思います。そのため今後は、低学年の子どもにも目を向けてもらえるとよいと思います。また、問6に「家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。」という設問がありますが、通訳という行動がこれに該当するという認識があるかどうかは疑問が残ります。その他にも、小学校低学年からひとり親で、家事を分担していたというケースも身近にありましたが、そういったひとり親家庭の子どもたちもヤングケアラーに含まれるのではないのでしょうか。

○事務局 参考資料様式①と②が保護者向けと子ども向けの案内ですが、それぞれ裏面にイラスト付でヤングケアラーについての説明を記載しており、そちらを見ていただくことで、ヤングケアラーについて共通の認識を持っていただく予定です。ひとり親かどうかという設問はありませんが、今回のアンケートでは家族をお世話している子供がいる場合、家族構成に関する設問があるため、そこでひとり親世帯かどうか確認することができます。お世話をしている家族がない場合も家族構成を聞くかという議論がございましたが、個人を特定されることを嫌がる子どもへ配慮し、設問は最小限のものとし、厳選しています。そのため、お世話をしている家族がない子供については家族構成の把握はできません。ただ、最後には支援を求める子どもが手をあげられるように、任意で名前が書けるようにしており、そこに記名があった場合、即支援に繋げていく予定です。

○委員 アンケートの中で、学校や学年、クラスを答えると、子どもの中には自分が特定されることが怖いと感じる子どもが出てくるのではないのでしょうか。

○事務局 アンケートの最後に記名をしSOSを発信してもらえると即、支援ができますが、名前を書くことを逡巡するような子どもがいた場合でも、支援が必要な子どもを早期に

発見し支援につなげていきたい、という想いがあります。

○委員 逆に言うと、ある程度子どもを特定したいということでしょうか。

○事務局 そうなります。ヤングケアラーの実態確認だけでなく、このアンケートで支援までつなげたいということです。

○会長 ヤングケアラーについては全国調査が行われていますが、多摩市は問題意識が高く、ヤングケアラーの実態の把握のために早い段階で調査票の作成にこぎつけたと思います。そして、ヤングケアラーの実態の把握だけでなく、アンケートを用いて、今苦しんでいる子どもの支援につなげていくということは新しい取り組みになってくると思います。ただ、委員からも意見として挙げたように、アンケートに答えづらいと感じる子どももいると思います。実際に、他の自治体で調査を実施した際にも、子どもの回答率が低いという実態もありました。ヤングケアラーの子どもの中にも、苦しい思いをしている子ども、あるいはお世話をすることで感謝されることに意義を感じている子どもなど様々な子がいます。調査を実施する際には、子どもが答えやすいような配慮をして回答率を高める工夫をしていければいいと思います。

(2) 高校生等医療費助成事業の創設について

○会長 それでは、報告事項2について事務局よりご説明をお願いいたします。

○事務局 (報告資料2の説明)

○会長 ただいまの説明につきまして、ご意見、ご質問等ございましたらお願いします。
(意見なし)

○(3)「多摩市母子保健・児童福祉一体的相談支援体制再編検討委員会」の検討状況について

○会長 それでは、報告事項3について事務局よりご説明をお願いいたします。

○事務局 (報告資料3の説明)

○会長 ただいまの説明につきまして、ご意見、ご質問等ございましたらお願いします。

○委員 質問ではありませんが、このプロジェクトチームが機能していくことは良いと思いましたが、しかしながら、担当者の異動等で積み上げてきたものが戻ってしまう、というようなことがないようにしてもらいたいと思います。

○事務局 そのように努めていきたいと思えます。

6 その他

○会長 最後に、その他について事務局からお願いいたします。

○事務局 第4回子ども・子育て会議の日程は、令和5年2月15日を予定しております。

○会長 それでは、本日の会議を終了したいと思います。ありがとうございました。

